

令和6年度重点目標達成についての自己評価

令和6年度重点目標	達成状況	今後の課題
<p>(1) 学生募集において、2025年度に向けて、入学定員に準じた適正な入学者を確保する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来の仕事への意識付けと、AO案内の徹底 ・3,4年制教育の周知 ・新カフェコース募集と、昨年大きく落としてしまったウェディング分野の広報拡大し、適切な人数確保 <p>(2) 中途退学者3%以内</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産学連携で質の向上に努める ・企業プロジェクトや企業との交流情報を通した教育効果の確認 ・教員、講師の研修、勉強会を通した教育力強化チームサポートの充実 <p>(3) 就職希望者の就職率100%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単独企業説明会・合同企業説明会等の内容の強化を図ることでの就職支援の充実 ・就職企業の拡大 ・ひとり一人に寄り添った就職サポート <p>(4) 健全な学校運営をする為の、適正な予算管理と適切な予算執行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定経営できるように予算意識を職員ひとり一人が意識する ・自己点検・自己評価のホームページ公開 ・スタッフのコンプライアンス遵守と危機管理意識の徹底 <p>(5) 教職員のマネジメント力向上、すべてにイノベーション、変化を大切にする</p>	<p>(1) 学生募集については募集開始時期、募集内容などルールを遵守し、進路選択時期に合わせた活動が行われた。課題であったウェディング分野も順調に伸ばしている。</p> <p>(2) 担当が一人ひとりを見ていくことをテーマに会議などで学生個々の情報を共有しスタッフ全員でサポートする課題に取り組んだが、目標には届かず、9.3%の結果に終わった。(目標3%)</p> <p>(3) 合同企業説明会で、より多くの企業理解が学生に提供できるようになったので、卒業年度生だけでなく、幅広い学生に対して、就職の意識付けを行う。3月末時点91%の内定率で、全員就職は2025年6月を目標に継続している。</p> <p>(4) 短期的な予算においては「修正予算」を組み、正確かつ実現可能な予算作成を立てた結果、予定通りの予算執行がなされた。</p> <p>(5) 滋慶学園グループ、滋慶学園COMグループの各種研修及び、現場でのOJTにより、スタッフの能力向上に努め単年度の人材育成計画が遂行された。</p>	<p>(1) 今後も募集開始時期、募集内容等々ルールを遵守し、高等学校の進路状況なども踏まえ選択時期に合わせた適正な学生募集に配慮する。</p> <p>(2) 令和6年度、複数担任制を導入してみたが、情報共有や効率が悪く、学生へ迷惑をかけることが多くなった為、従来の担任制に令和7年度より戻す。ただし、複数でサポートしていく事は継続しておこなう。</p> <p>(3) 就職希望者全員の内定は当然、一人ひとり学生の希望に合わせた就職支援をさらに強化する。 新たな業種、企業の求人獲得に努める。</p> <p>(4) 短期的な予算の「修正予算」を基に、中長期的な予算も編成し直す。</p> <p>(5) 学園の教育理念の共有を徹底し教職員の更なる成長を即すために、人材育成を強化する。</p> <p>(6) 安心安全な学校運営の為、健康管理の徹底、火器取り扱いなど、事故を防ぐ為、安全管理の徹底。</p>